# 第6期(平成26年2月~平成28年2月) 「千代田みらいくる会議」からの報告

平成 28 年 3 月 「千代田みらいくる会議」 千代田みらいくる会議は、一般廃棄物の発生抑制(リデュース: Reduce)、再使用(リユース: Reuse)、再生利用(リサイクル: Recycle)といった3Rの取組みに関する区民などの意見を、区の関連施策に反映させていくために設置された、区民や事業者の方々で構成する会議です。

前期である第5期では、「リサイクルセンターの活性化と今後のあり方」、「有価物集団回収へ新規参加団体を増やす方策」、「ごみに混ざって捨てられている資源を分別排出してもらう方策」という3点について検討してきました。

今期である第6期では、前期の検討内容も含めたこれまでの提言を加味するとともに、同時期に開催されている第6期千代田区一般廃棄物減量等推進審議会との連携をより一層強化しながら、「ごみ・資源の流れ」、「環境に関する学習と(仮称)ちよだエコセンター」、「リユース食器」、「資源の持ち去り」の4点に注目し、検討してきました。特に、今期は、これら4点の検討にあたって、一般廃棄物に関するこれまでの物量データにコストおよび収入の貨幣データを加え、また、他の都道府県・市区町村の現状調査なども活用しながら検討できたことから、委員の皆様とこれまで以上に多面的な議論ができたと考えています。

来期以降も、委員の皆様と一緒に、今期の提言を生かしながら、より一層有効的な一般廃棄物の3R活動を検討していただければと思います。また、こうした提言に基づいて、行政、区民、事業者と一緒に、また、来街者の方々にもご協力いただきながら、3R活動が推進されることを期待します。

さらに、2020年には、東京オリンピックが開催されますが、それまでの間に、千代田区のこうした施策や活動が、都内の他の区だけではなく、国内外でも先進事例として注目され、また、模範となるように取り組んでいくことを望みます。

最後に、これまでご多忙の中、本会議にご出席いただいた委員の皆様に、厚く御礼を申し上げます。

平成28年3月

千代田みらいくる会議 委員長 金 藤 正 直

# 目次

1	検討内容	1
(ア)	ごみ・資源の流れ	1
1	〕 現状	1
2	) 主な意見	1
(1)	環境に関する学習と(仮称) ちよだエコセンター	4
1	〕 現状	4
2	) 主な意見	4
(ウ)	リユース食器	7
1	〕 現状	7
2	) 主な意見	7
$(\underline{T})$	資源の持ち去り	9
1		9
2		
2	資料	
(ア)	ごみ処理・資源化のコストの集計額	11
(1)	ごみの流れ・資源の流れとその集計対象範囲	12
(ウ)	リユース食器ネットワーク参加一覧	13
3	議論の経過等	17
(ア)	会議及び活動概要	17
(イ)	第6期千代田みらいくる会議委員名簿	18
(ウ)	区民会議の設置根拠について	

#### 1 検討内容

千代田みらいくる会議は、一般廃棄物1の減量及び処理について、区民等の意見を区の施策に反映させるために設置された、区民や事業者等の方々で構成する区民会議である。

第6期みらいくる会議では、前期みらいくる会議の提言等を踏まえるとともに、同時期に開催している第6期千代田区一般廃棄物減量等推進審議会と連携を図りながら、特に「環境学習」「リユース食器」等について、議論を行っていくこととし、下記の4点を課題として選定し、検討を行った。

- ごみ・資源の流れ
- 環境に関する学習と(仮称) ちよだエコセンター
- リユース食器
- 資源の持ち去り

平成26年2月21日(金)開催の第1回から、平成28年2月5日(金)開催の第7回までに検討した主な内容は、次のとおりである。

#### (ア) ごみ・資源の流れ

ごみ・資源の量の推移とコストを踏まえ、千代田区のこれまでのごみ全体の流れを学び、どこを 重点的に減量していくのかを明らかにし、清掃工場を持たない千代田区ならではの分別回収、リサイクルの方法を検討していく必要がある。

#### ① 現状

- 千代田区内から発生するごみは、大規模事業者の排出による持込ごみ<sup>2</sup>が8割以上を占めており、小規模事業者を合わせると事業系ごみは全体の9割程度となっている。
- 燃やすごみは週2回、燃やさないごみは月2回集積所にて収集し、資源は週1回、古紙 (新聞・雑誌・段ボール・紙パック・その他紙)、びん、缶(鉄・アルミ)、ペットボトル、 プラスチック(容器包装プラスチックを含む)を回収している。
- 拠点回収3では古布、蛍光管、乾電池、廃食用油、小型家電、インクカートリッジ等を 回収している。

#### ② 主な意見

• コストについて

- ▶ 分別を細分化することで処理コストは高くなる。資源回収のコスト削減は困難であるものの、コストを正確に把握しながら取り組みを進めていく必要がある。
- ▶ 資源として回収とするのか、ごみとして処分するのか、コストとの兼ね合いで非常に難しい部分もある。
- ごみの収集・処理とリサイクルにどれだけのコストが掛かっているかを明確にし、

<sup>1</sup> 一般廃棄物:産業廃棄物以外の廃棄物のこと。家庭での日常生活から生じる廃棄物(家庭廃棄物)と、事業活動に伴って生じる廃棄物(事業系一般廃棄物)に区分される。

<sup>2</sup> 持込ごみ:事業者自ら、または一般廃棄物収集運搬業者に委託して、清掃工場等の中間施設に搬入する事業系ごみ。

<sup>3</sup> 拠点回収: 資源回収の方式の一つであり、出張所など公共施設を中心とした各拠点に設置されたリサイクルを行うための回収ボックスから資源回収を行う方法。

区民等に周知し理解促進を図る必要がある。

#### ● 事業系廃棄物について

- ▶ 家庭系廃棄物は比較的分別されているが、小規模事業所は一時排出場所の確保が 困難なため、排出容器の設置がままならず、分別が徹底されていない。リサイク ル率を上げるためには小規模事業所の分別の徹底が課題であるため、もっと働き 掛けていく必要がある。事業者への啓発に SNS などの利用を行ってはどうか。
- ▶ 事業系資源に対してごみ処理券の割り引きなどできないか。
- 事業者へ単にリサイクルをお願いするのではなく、具体的なコストの削減方法などを提示することが必要ではないか。
- ▶ テナントビルにおける事業系ごみ・資源の排出ルールの徹底が困難である。

#### 分別・リサイクルの取り組みについて

- 燃やすごみの中に資源となる紙が混入している。資源は資源として排出するよう 協力してもらう必要がある。
- ▶ 生ごみを堆肥化することで有効活用できたら、ごみ減量につながるのでないか。
- ▶ 千代田区は他区と比較し遜色のないリサイクルに取り組んでいる。
- リサイクル率を上げることも大事だが、3R4の中でリデュース(発生抑制)のための方策を考えるべきである。
- ▶ リサイクルでもサーマルリサイクル⁵と原料を再資源化するのでは資源の有効利用の仕方が全然違う。リサイクルの中身も重視してほしい。
- ⇒ 弁当ガラについては不燃物またはサーマルリサイクルになっている。弁当事業者 もコストの関係で分別しやすい弁当容器を作りきれていない。
- ▶ 廃食用油はバイオディーゼル<sup>®</sup>燃料などの資源になるので、そのような回収システムを検討してほしい。

#### ● 普及・啓発について

- どのごみをどの日に排出するかなど分かりづらいところがある。
- ▶ 学校・保育園等の残飯等も再資源化されていることを、環境学習の一環として周知してほしい。
- 分別に取り組んでいる人たちのモチベーションをあげるために、区の取り組みの 成果をグラフなど利用して明らかにしていくべきである。
- ▶ 自治体で細かく分別していても、清掃工場で分別をあまりしていない他の自治体のものと混ざって処理されてしまう。処分場の現実を知って勉強するべきである。
- ▶ 資源化率<sup>7</sup>という言葉は一般に理解しにくいので表現を整理した方がよい。

<sup>4 3</sup>R: 資源循環のキーワードである発生抑制(リデュース Reduce)、再使用(リユース Reuse)、再生利用(リサイクル Recycle)の3つのR(アール)の頭文字をとったもの。

<sup>5</sup> サーマルリサイクル: 廃棄物を燃焼させることにより、エネルギーを回収する方法。回収されたエネルギーは、発電や冷暖 房及び温水などの熱源として利用される。

 $<sup>^6</sup>$  バイオディーゼル: バイオディーゼルフューエルの略で、大豆、パーム、ひまわりなどの植物由来の油や、天ぷら油などの廃食用油から作られるディーゼルエンジン用燃料のこと。植物は成長過程で光合成により大気中から  $\mathrm{CO}_2$  を吸収しているため、燃焼によって  $\mathrm{CO}_2$  を排出しても、大気中の  $\mathrm{CO}_2$  の収支はゼロとなる。

<sup>7</sup> 資源化率(リサイクル率):総資源量を総排出量(ごみ量+資源量)で除した数値のこと。

- 今後のごみ・資源量の見込みについて
  - ⇒ 今後、世帯数の増加が見込まれるため、ごみ量も増加する見込みである。
  - ▶ 大学でもスーパーグローバルユニバーシティ<sup>8</sup>関連で留学生が増える可能性があり、区内人口が増えるとごみ量も増える。何らかの対策を早めに講じることが必要である。
  - ▶ チャレンジングな目標値よりも現実に合わせた目標値の方がよい。

#### 検討結果のまとめ(提言)

ごみ処理・資源化のどこにどれだけの経費が掛かっているのかについて、分かりやすい表現やグラフなどを利用しながら、区民等に明らかにし理解促進を図る。そのうえで、ごみとして捨てるものと、資源として生かすもののバランスを考えながら、千代田区ならではのごみの減量やリサイクルの方法を検討していく。

小規模事業者の廃棄物については、分別の徹底をさらに働きかけていくため、SNS を利用した啓発のほか、コスト削減につながる排出方法の提示などを検討していく。

また、計画のごみ量・資源量・資源化率などの目標値は、今後の社会情勢変化を踏ま え適切な将来推計を行い、現実を踏まえた実現可能なものにしていくべきと考える。

<sup>8</sup> スーパーグローバルユニバーシティ:日本国外の大学との連携などを通じて、高等教育の国際競争力の向上及びグローバル 人材の育成を図るために、文部科学省が創設した事業であり、支援対象となる大学。

#### (イ) 環境に関する学習と(仮称) ちよだエコセンター

ごみ・資源の減量など環境に関する学習をどのように行っていくのか、今後の方向性を定めていく必要がある。

また、リサイクルセンターが併設される(仮称)ちよだエコセンターのあり方について、検討していく必要がある。

オリンピックを見据えたごみ分別の表示方法や、ユニバーサルデザイン<sup>9</sup>をどのようにしていくかが課題となっている。

#### 1) 現状

- リサイクルセンター鎌倉橋
  - ▶ 資源の有効活用とリサイクル活動の促進を図る拠点施設として、スポーツセンター内地下1階に、平成13年に開設している。開館日 火~日 10時~18時(26日~月末休館)
  - ▶ リサイクルショップ(雑貨や衣類等を預かり展示・販売)、再生家具展示コーナー、 リサイクル自転車展示コーナー等からなる。
  - 新たに整備される(仮称)ちよだエコセンター内に移転を予定している。
  - ▶ 収集した粗大ごみの中から、修理等すれば利用できるものをリサイクル工房で修理し、リサイクルショップ内にて再生家具として販売している。(リサイクル工房は旧神田保育園 1F に設置)
- (仮称)ちよだエコセンター整備計画
  - 各主体に対する温暖化対策行動の普及啓発や環境教育・環境学習を推進する他、 主体間の連携を促進するための場や機会をつくり、一体的な活動を支援するため に整備する。
  - ▶ 「環境学習の拠点」「千代田エコシステム(CES) 10普及の拠点」「リサイクルの拠点」「環境に関するネットワークの拠点」として、平成30年にゼロエネルギービル(ZEB) 11のモデル施設として整備予定。施設の設置場所・規模は未定である。

#### ● 来街者のごみ

- 千代田区にはビジネスや観光等で多くの来街者が訪れる。来街者の出すごみが課題となっている。
- 2020年オリンピック・パラリンピック開催にあたって、さらに外国からの来街者が増える見込みである。

#### ② 主な意見

● (仮称)ちよだエコセンターに必要な設備等について

<sup>9</sup> ユニバーサルデザイン: あらかじめ、障壁の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず、多様な人びとが利用しやすいよう都市や生活環境をデザインする考え方。

<sup>10</sup> 千代田エコシステム(CES): Chiyoda Eco System の頭文字をとって CES の略称でも呼ばれる千代田区に関わるすべて の人びとが取り組みやすい独自の環境マネジメントシステム。

<sup>11</sup> ゼロ・エネルギー・ビル:事務所ビルの低炭素化を推進するため、省エネ化に加え、再生可能エネルギー(太陽光等)を最大限に利用することで、建物のエネルギー収支が限りなく「ゼロ」になる施設。

- リサイクルショップは必要である。リサイクル情報、リユース情報の提供ができるようにすべきである。
- ▶ ストックヤード<sup>12</sup>があるとよい。ごみ・資源の中間施設ができるとよい。
- ▶ 普及・啓発や教育の中核となるセンターにしていかなければならない。
- 先進的なところをモデルにして、より良いものにするとよい。パネルなどの展示だけだと利用者が飽きてしまい陳腐化するため、参加型・体験型の仕掛づくりを取り入れるべき。無意識のうちに区の取り組みに参加できるような仕掛けとして、例えば歩行の振動などで発電するといった、エネルギー生成のための実験環境を備えたブース等を設けることにより、大人や子どもが参加し環境保全意識を高めるような工夫をしてはどうか。
- ▶ 環境というのは概念的に幅広い。災害の点についても加味した防災を兼ねたセンターとしても考えていくべきではないか。例えば千代田区内の過去数百年にどんな災害があったかを調べ、歴史的なものを見せていく教育的なセンターにしてみてはどうか。防災についての講義・セミナーもあるとよい。
- (仮称)ちよだエコセンターに望むこと、活用方法等について
  - 子どもたちが学習できる環境があるとよい。若い人に興味を持ってもらうような 仕掛けが必要になる。ゆるキャラ等で親しみを持てるようにする。
  - ▶ 環境に関する問題やトレンドなどを解説・相談などできる環境コンシェルジュのような案内人がいる、環境に関する未来館的な施設を期待する。
  - ▶ オリンピックでは海外から大勢の人がやってくる。区の取り組みを世界に発信できるように国際的な PR をするとよい。海外から来る人たちにも日本(千代田区)はすごいと思ってもらえるような発信をできたらよい。
  - オリンピックを目指すのはよいが、大事なのはオリンピック後の生かし方である。
  - ➤ エコセンターを観光資源としても利用していくために、区だけでなく全国に発信できるようにする。このため広報・PR 活動を通じて全国の方々に注目してもらうような仕掛けが必要である。また、地方のニーズと連携できるような活動ができるとよい。
  - ▶ 「食」をテーマにしたイベントを開催し、食品ロス<sup>13</sup>を減らす教育的取り組みを 行えるとよい。例えば賞味期限が近いがまだ食べられるものをセンターに持って きてもらい、それを調理して安価に提供してはどうか。
  - ▶ 区民や事業者からコンペティションのようにアイディアを募り、使い勝手の良い ものを参考にすると面白いのではないか。それによって一般の区民の人たちが自 分たちも参加できて意識が高まる。
  - 単にセミナーをするのではなくプラスアルファ、区民の人の協力を得るような形にするとよい。
  - ▶ 行政だけ学生だけの利用にならないよう連携し合い、働いている人、住んでいる 人を交えながら参加型の活用をしっかり考えていくべきである。

<sup>12</sup> ストックヤード:紙や缶、びんなど資源回収用に設けられた一時保管場所。

<sup>13</sup> 食品ロス:まだ食べられるのに廃棄される食品をいう。家庭では、賞味(消費)期限切れなどで手付かずのまま廃棄される食品(未利用食品)や食べ残しの食品、野菜の皮を厚くむき過ぎたものが挙げられる。

- 環境に関する学習・教育について
  - ▶ 区民一人ひとり、学生一人ひとりにごみの分別の徹底を図っていくため、環境学習を取り入れた施設にしていく必要がある。
  - ⇒ 幼稚園・保育園・小学校・中学校・高校などの教育レベルに合わせた環境学習を、 人材育成的な視点から行うことが効果的ではないか。
  - 子どもたちは家庭での影響力が強い。子どもに教育することによって家庭全体で取り組むことになるので有効だと思う。
  - 教育に役立つビデオ、広報誌、ディスクローズ誌の作成が必要である。
  - ▶ 大学生に対してもいろいろ発信して分別の教育をしていくべき。大学等と連携し、 エコセンター等で学生を活用していってはどうか。
  - ごみのことを熟知した人材を育成する視点での議論も必要である。
  - ▶ 学校への教育、マンション管理組合などへ啓発できないか。
  - 事業者が環境学習拠点で受講したら、何らかのメリットを与えるようにしないと 効果的ではない。
  - インセンティブを与えていかないと、セミナーを含め教育的な視点での取り組みがうまく機能しない。区の認証制度などの仕組み作りを行うとよい。
- オリンピックを見据えたごみ分別の表示に関する検討について
  - 駅のごみ箱等、分かりにくい面がある。オリンピックを見据えた来街者のための 分別のユニバーサルデザインを検討すべきである。
  - ▶ 千代田区ならではの分別回収・リサイクルの方法が分かるよう議論が必要である。
  - 分別デザインは環境学習の一環として検討していくとよい。

#### 検討結果のまとめ(提言)

(仮称) ちよだエコセンターの施設名称は、「エコ」に特化した名称とせずに、環境全体をイメージした名称としていくことが望ましい。

(仮称)千代田エコセンターは子どもから大人まで、区民・事業者・学生・来街者などが関わり合える環境学習・環境教育の拠点とすべきである。さらに、参加・体験型のセンターとなるよう、環境に関する問題などを説明・相談できる環境コンシェルジュなどを配置していくとともに、知らず知らずのうちに参加できるような施設として整備していくべきである。

外国人の来街者にも分かりやすいオリンピックを見据えたユニバーサルデザインを、 環境学習の一環として検討していく必要がある。

#### (ウ) リユース食器

リユース食器は、飲食を伴うイベント等で使い捨て容器のかわりに使用するもので、繰り返し 洗って使える食器のことである。リユース食器を利用することで、イベント時に発生するごみを 減らすことが可能と言われている。一方で、制度の趣旨が広く認知されていないため、手間が大 変で使い勝手が悪いなどの意見もある。

今後リユース食器の利用をさらに普及させ、ごみ減量を行っていくにはどのようにしたらよい かを検討していく必要がある。

#### 1) 現状

- 洗って繰り返し使用できるリユース食器(皿、カップ大・小、どんぶり、はし)を、千代田区内で活動している町会・事業者・学校及び各種団体等が、区内で主催するイベント・祭礼等に無償で貸し出している。紛失時には実費程度の負担としている。
- 返却にあたっては、軽く汚れを落としてもらい、洗浄は不要である。
- 平成26年度の貸出件数等は110件 50.976個であり、ここ数年横ばいである。

#### ② 主な意見

- リユース食器の周知等について
  - ▶ 町会のサマーフェスティバルなどのイベントでは、まだ紙コップ等が大量に廃棄されているのを目にする。理解されていない面もあるので、利用範囲・方法等をもっと広くに周知すべきである。
  - ➤ ごみ減量を意識しない人はリユース食器を借りず、紙コップ・紙皿にしてしまう。 啓発を通して意識付けをする必要がある。
  - 紙コップを使うとどれだけ無駄なごみが増えるかを見える化し、来街者などにも 啓発をした方がよい。
- リユース食器の使い勝手について
  - ▶ リユース食器の目的はごみ削減なので、食器の紛失は捨てるのと同じである。返却を基本に考えていくべきである。新たな利用方法を検討する際に目的を忘れないことが重要である。デザインを変更し、返却しやすいものにすべきである。
  - ▶ コップは比較的便利に使えている。イベントではリターナブルびん14を使う例もある。他のリユース食器の貸し出し例を参考にしながら検討する。
  - ▶ 主催者がデポジット制<sup>15</sup>を導入すれば回収しやすくなるなどの工夫もある。返却 運用、管理面について議論して、良い方策を検討していく。
  - リユース食器が災害時にも利用されるということなど、新たな認識を植え付ける 仕組みが必要である。
- リユース食器の今後の活用について
  - リユース食器はコストが掛かっていると思われる。コスト意識は大事だが、コス

<sup>14</sup> リターナブルびん: 一升びんやビールびん、牛乳びんなどの繰り返し使用できるびん。繰り返し利用することで容器の製造にかかる環境負荷を低減できる。

<sup>15</sup> デポジット制:製品価格に一定金額の「デポジット(預託金)」を上乗せして販売し、製品や容器が使用後に返却された時に預託金を返却することにより、製品や容器の回収を促進する制度のこと。

トが掛かっても環境教育等や、今後のことも考えて、千代田区としては推進していくべきだとのきちんとした指針を持つべきである。コスト・効果等を考えながら、千代田区でのリユース食器が、どのような形が良いのかこの会議で提案できるとよい。

- ➤ イベント時の利用だけでなく、日常の生活の中でリユース食器が使えないか。区内コンビニのイートインなどのスペースでリユース食器の活用に向けた社会実証実験はできないものか。
- 利用するとメリットがあるようなプラスアルファの仕組みを検討すべきである。
- リユース食器の箸は、間伐材を使用した割り箸にしてはどうか。洗浄のコスト、 手間を考えるとどうなのか。リユース食器を利用しなくても環境にやさしい、捨てても土に戻るようなバイオプラスチック16みたいなものにするのもよい。

#### 検討結果のまとめ(提言)

リユース食器を使用することによりごみ減量につながることを啓発し、利用拡大を 図っていく必要がある。このためには動画などで使い方をわかりやすく周知するととも に、リユース食器利用時の環境負荷低減の見える化を行う。

また、現行の区民対象のリユース食器の貸し出し制度とは別に、今後、みらいくる会議では、リユース食器の社会実験に協力できる事業者を探すなど、効果的な活用について継続的に調査を行っていく。

<sup>16</sup> バイオプラスチック: 生物資源から作られたプラスチック。バイオプラスチックの多くは微生物によって水と二酸化炭素に分解される生分解性を持つ。

#### (エ) 資源の持ち去り

集積所に排出された古紙や缶などの資源を持ち去ってしまうことが見受けられている。持ち去り行為は自治体が回収しようとしている有価物の横取り行為であり、築きあげてきたリサイクルシステムを脅かすものである。

持ち去られた資源が継続的かつ適正に処理されているか不明であり、全国的に問題となっている。

#### ① 現状

- 千代田区でも資源として出された紙や缶などの持ち去りがある。
  - ▶ 古紙は回収時間を把握して、その時間前または夜中に巧妙に動き回って持ち去っていく。組織化されている模様で、集積所から直接トラックで持ち去っていく他に、自転車や台車などで回収し、歩道や公園等の1か所に集めてから、トラック等でまとめて持って行っている。
  - ➤ 缶はアルミ缶だけ選別して持ち去っている。指導しても時間と場所を変えて行っている。
  - マンションなど私有地にも区の職員を装って立ち入るなどしている。

#### ● 持ち去り防止条例

- ▶ 千代田区は持ち去り防止を定めた条例は制定していない。
- ▶ 平成26年度時点で23区中17区は条例を制定している。

#### ② 主な意見

#### 対策について

- ▶ 古紙やアルミ缶などの抜き取りが発生しているため、区民が適切に排出していて も資源量が把握できない。資源化率の推移を比較することが困難である。
- ▶ 古紙や缶が外から見えない、抜き取りしづらい回収ボックス・装置を作ればよいのではないか。
- ▶ 抜き打ちで見回りしたり、防犯カメラがあると抑止効果があるのではないか。
- 効果的な妙案は出てこない。何かしらの対策をみらいくる会議でも継続して考えていきたい。

#### ● 規制の方策について

- ▶ 持ち去りは窃盗になると思われるが、条例で規制する必要があるのではないか。
- ▶ 持ち去った物を歩道や公園等に集めており、美観を損ねているだけではなく歩行者の妨げになっている。特にオリンピックの時などに、海外の人に持ち去りの姿を見られるとみっともないし見苦しい。
- ▶ 古紙、アルミ缶が持ち去りの対象となっており、組織的に行われている。実態を しっかり把握し、条例を定めたり、GPS を付けるなどして前向きな対策を実施す べきである。一方、パトロールには人件費が掛かるのでコストとの兼ね合いがあ る。条例制定のメリット・デメリットを踏まえて議論すべきである。
- ▶ 他区の例では、罰則を設けていても、時間帯・場所を変えたり、罰金以上に収益が得られるため持ち去りを行っている。イタチごっこの面がある。

#### 検討結果のまとめ(提言)

資源の持ち去りへの対応策について、真剣に考えていくべきである。

当面の対応策については、パトロールの強化や集団回収の活用などが挙げられるが、 費用対効果の面も考慮しながら検討をしていくべきであり、今後より効果的な対応策に ついて研究をしていく必要がある。

持ち去りの禁止や持ち去り業者への罰則がある条例制定については、他自治体の例を 踏まえメリット・デメリットを十分把握し、検討をしていく。

## 2 資料

(ア) ごみ処理・資源化のコストの集計額

		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	21010	23年度	24年度	25年度	23年度	24年度	25年度	23年度	24年度	25年度
				数量	数量	数量	コスト	コスト	コスト	収集・処理コ スト単価	収集・処理コ スト単価	収集・処理コ スト単価
		燃や	すごみ	16,179,700kg	15,499,800kg	15,344,470kg					, , , , , , , , , , , ,	
-	<b>^</b> 2,	燃やさ	ないごみ	727,470kg	656,730kg	679,900kg	1,178,054千円	1,147,287千円	1,116,239千円	68.02円/kg	69.41円/kg	67.93円/kg
ごみ 粗大ごみ		てごみ	412,450kg	372,020kg	408,150kg							
計			計	17,319,620kg	16,528,550kg	16,432,520kg						
				数量	数量	数量	コスト	コスト	コスト	回収・資源化コスト単価	回収・資源化コスト単価	回収・資源化コスト単価
		新	間	433,310kg	406,460kg	404,930kg						
		雑	挂誌	554,655kg	491,120kg	412,610kg	39,028千円	36,735千円	32,047千円	24.52円/kg	24.75円/kg	21.54円/kg
	古紙	段ボール		595,495kg	579,635kg	663,650kg	00,020113	00,700 773	32,047113	24.0213/16	24.7013/NS	21.041J/ NB
	紙	紙バ	パック	8,113kg	7,011kg	6,264kg						
		※その他の紙類		-	159,735kg	444,310kg	-	19,066千円	46,916千円	-		105.59円/kg
		Ž	計	1,591,573kg	1,643,961kg	1,931,764kg	39,028千円	55,801千円	78,963千円	24.52円/kg	33.94円/kg	40.88円/kg
		ビン カレット		746,947kg	740,409kg	772,502kg						
			生きビン	48,918kg	51,439kg	48,955kg						
	ビン	缶	鉄	214,483kg	216,612kg	192,497kg	183,194千円	184,099千円	188,134千円	125.39円/kg	128.25円/kg	127.48円/kg
	│ 缶   ペット		アルミ	63,257kg	49,968kg	71,743kg						
		ペット	集積所	317,310kg	313,420kg	330,232kg						
資源			店頭   <del> </del>	70,090kg	63,570kg	59,890kg						
			^-	1,461,005kg	1,435,418kg	1,475,819kg						
			スチック 芸容器	324,060kg	6,630kg	20,960kg	152560工田	145,926千円	162.455壬四	455.70⊞/kg	251 10EE/km	340.00円/kg
	プラス チック		コールトレイ	12,934kg	401,140kg 7,762kg	456,850kg	100,000   13	140,92011	102,400115	455.70F3/ NB	301,10FJ/ Ng	340.00FJ/ NB
			計 計	324,060kg	407,770kg	477,810kg						
		T	// 5布	19,720kg	16,870kg	18,065kg						
			·····································	439kg	579kg	479kg						
	その他		z電池	2,622kg	2,179kg	2,440kg	959千円	1,022千円	1,329千円	40.16円/kg	48.70円/kg	59.10円/kg
			到 到 注用油	1,098kg	1,350kg	1,494kg						
		<u> </u>	<u></u>	23,879kg	20,978kg	22,478kg						
		用済小型家	 電	-	_	926kg	-	-	-33千円	_	_	-35.45円/kg
	•	計		3,413,450kg	3,515,889kg	3,908,797kg	376,748千円	386,847千円	430,847千円	110.37円/kg	110.03円/kg	

※:ごみ・資源とも区収集・区回収部分のみ

※:経費は各種資料より算出したものであり、決算数値と合致しない

※:使用済小型家電はH25.8から実施

※: その他紙類、プラスチックはH24.11から実施

※:発泡スチロールトレイはH24.11からプラスチックに統合

#### (イ) ごみの流れ・資源の流れとその集計対象範囲

○ごみの流れ

	数量	収集運搬経費	処理経費	収入	コスト							
	16,432,520kg	849,325千円	266,913千円	1	1,116,239千円							
燃やすごみ	15,344,470kg											
燃やさないごみ	679,900kg	849,325千円	266,913千円	-	1,116,239千円							
粗大ごみ	408,150kg											

☆ごみの収集は千代田区千代田清掃事務所、資源の回収は業者委託。

収集・搬送(千代田清掃事務所)	$\rightarrow$	港清掃工場・中央清掃工場(焼却灰 → 一部溶融スラグ化)
収集・搬送(千代田清掃事務所)	$\rightarrow$	中防不燃ごみ処理センター(鉄分・アルミ分回収)→ 中央防波堤埋立処分場
収集・搬送(千代田清掃事務所)	$\rightarrow$	粗大ごみ破砕処理施設(鉄分・アルミ分回収)→ 中央防波堤埋立処分場

# ○資源の流れ

		数量	回収運搬経費	資源化経費	売却等	コスト	
		3,908,797kg	367,503千円	93,526千円	30,182千円	430,847千円	
	新聞	404,930kg			3,104千円		
	雑誌	412,610kg	31,056千円	11,558千円	2,340千円	32,047千円	
古紙	段ボール 663,650k			11,556113	5,092千円	32,047 [1]	
	紙パック	6,264kg			31千円		
	その他の紙類(注)	444,310kg	44,647千円	3,452千円	1,184千円	46,916千円	

ビン	カレット※	772,502kg		21,233千円	31千円	
ン	生きビン	48,955kg		21,233713	136千円	
			142,040千円			188,134千円
缶	鉄	192,497kg		9,156千円	165千円	
Ш	アルミ	71,743kg		9,130113	3,137千円	
ペッ	集積所	330,232kg		13,927千円	14,103千円	
ト ※	店頭	59,890kg	19,350千円		TF, 100	
プラスチ	プラスチック	20,960kg	129,829千円	891千円	-	162,455千円
	包装容器※	456,850kg	123,029113	32,519千円	784千円	102,400 [1]

古布	18,065kg		190千円	36千円	
廃蛍光管	479kg	581千円	140千円	-	1,329千円
廃乾電池	2,440kg	361713	352千円	-	1,329+13
廃食用油	1,494kg		109千円	6千円	

使用済小型家電	926kg	33千円	-33千円

選別•計量 古紙問屋 売 却 美濃紙業 三弘紙業 新井商店 売 却

レンゴー㈱ 八潮工場(段ボール) 高砂製紙(株) (新聞) 新聞紙、印刷紙、板紙、トイレットペーパー、ダンボール等の各種製紙原料 同型袋((株) (利用) 王子板紙(株) 江戸川工場(雑誌) 日本製紙(株) (新聞・雑誌) 日本製紙クレシア(株) (紙パック)

選別(生びん、色別、禁忌品)、生びん以外破砕破砕分	引渡	中村ガラス(株) 埼玉工場 豊島硝子(株) 松戸支店	ガラスビン、路盤材等の原料
生びん	売却	ビールビン:キリン アサヒ サッポロ サント 洋酒ビン :サントリー ニッカ 一升びん :宝酒造㈱	J
選別(スチール缶、アルミ缶、禁忌品)・プレス	売却	スチール缶:ダイワスチール(株)、日生鋼業(株) アルミ缶 :アサヒセイレン(株)、日生鋼業(株)	スチール:建設鋼材 アルミ:アルミ缶他
選別(ペットボトル、禁忌品)・圧縮梱包(ベール化)	引渡	TPR(東京ペットボトルリサイクル) 青海	フレーク(化学繊維やシート等の製品の原料)
選別(硬質、軟質、禁忌品)・圧縮梱包(ベール化)	引渡	市川環境エンジニアリング(市川市)	硬質 → 原材料・軟質 → RPF
選別(プラ製容器包装、禁忌品)・圧縮梱包(ベール化)	引渡	MMプラスチック 富津工場	フレーク(ハンガーなどプラスチック製品の原料)

	雉橋集積所で一時保管	売却
計量・選	   	引渡
計量・選		1 1/1/2 1 1/1/2
選別	西神田コスモス館ストックヤードで一時保管	売却

	着られる物はそのまま(輸出)70%・工業用雑巾、 軍手20%・ぬいぐるみの中身等10%
野村興産㈱ 北海道北見市イトムカ鉱業所	水銀・ガラス・亜鉛・鉄・アルミニウム等の各種金属
<b>街山正 (墨田区)</b>	油洗い後出荷→飼料(鳥の餌)

売却 鉄、アルミ、銅、金、銀、パラジウム、ステンレス等 の各種金属 収集・搬送(千代田清掃事務所) ㈱リーテム

- 注: その他の紙類の収集・運搬は千代田清掃事務所で行っている。 ※: 容器包装リサイクル法に基づく処理で行っているもの ※: ごみ・資源とも区収集・区回収部分のみ ※: 経費は各種資料より算出したものであり、決算数値と合致しない ※: 数量・経費は25年度、売却先等は26年度

# (ウ) リユース食器ネットワーク参加一覧

			及品イグドクーク参加・見	貸出	; ;	洗浄 ナービ ス	コー	ディート	対象工	リア 🛪	象イベ	ント規	模		保	有食				食器	食物	器車			
地方	都道府県	区市町村	団体名	0 К			о К	N 3	地域限定	日本全国	\$ 1 1 , 0 0 0 0	\$ 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 0 , 0 0 0 0 5	どんぶり	共通 カップ 2 8 0 m l	i プ 4 5 0 m l	箸	スプーン		なし			団体活動内容	リユース食器関連の活動内容	備考
	北海道	札幌市	特定非営利法人 環境り-ふれんず 〈http://www.refriends.org/〉	1		1		1	1		1 1		1	1 1			1 1	1		1		1 1	'谷奋已装間系化事果 '巫红車業'	リュース食器活動は、札幌市の指定管理者で受 託している札幌市リサイクルプラザの食器洗浄 車「アラエール号」の貸し出し事業の中で実施	
2 団体)		帯広市	NPO法人 自然にいいこと、再出発。カンナ・カンナ(現在、カンナ・カンナ) 〈http://socialmove.p2.bindsite.jp/〉	1		1		1	1		1				1	1				1		1 .	・ピアサポートの普及(個別サポート、グループサポート) ・ピアサポートグループの活性化 ・ピアサポーターのスキル向上 ・上記に附帯・関連する事業	2013年に、環境的な活動から、地域で苦労を抱える当事者を支えるピアサポートの普及活動に移行(名称をカンナ・カンナに改名) ⇒ 現在リユース食器の貸出はやっていないのではないか?	
	青森県	弘前市	プロ・ワークス弘前(活動休止中)	1		1	1			1	1		1	1 1	1	1	1	1	1	1		1	Jユース食器の洗浄や煮沸消毒の仕事を障がい者授産施設と提携し、共に生きる社会と循環型社会の実現を目指して活動		
東北(計3団体	宮城県	登米市	NPO法人 日本の森バイオマスネット ワーク〈http://jfbn.org/〉	1		1		1	1		1 1		1	1 1	1		1	1		1		1	エネルギーとしての活用推進 国産材の活用推進 手のひらに太陽の家プロジェクト	2012年にリユース食器を導入し、植樹イベント や、ap bank fes '12 (仙台)でリユース食器の 貸出を実施	
· ·	福島県	河沼郡会津 坂下町	特定非営利活動法人真桜会 桜の家 〈http://sakuranoie.jimdo.com/〉	1		1		1	1		1 1		1	1 1	1		1	1		1		1 .	·BDF(バイオ燃料)販売 ·便利屋事業(除草、草刈り、選定、障子、ルームクリーニング) ·リユース食器の貸出		
	栃木県	塩谷郡高根 沢町	エコ・ハウスたかねざわ 〈http://homepage3.nifty.com/ecohouse -t/〉	1		1	1		1		1 1		1	1 1	1		1 1	1		1	1		・部屋の貸出 ・視察・見学・体験	エコイベント推進の活動において、リユース食器 (洗い回し食器)の貸し出しやリユース食器洗浄 ユニット(さらピカくん:食器洗浄器運搬車)の貸 し出しを実施	
	群馬県	伊勢崎市	粕川フラワーロードの会(環境市民団体) 〈http://kfr2002.vivian.jp/〉	1		1		1	1		1 1	1	1	1 1		1		1		1			・化と紋のようつくり しょうしょう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう	リュース食器の使い方やエコイベントのやり方等 に関するDVDを作成 ⇒DVDの内容はユーチューブでも視聴可能	
	千葉県	佐倉市	NPO法人 ワーカーズコレクティブ風車 〈http://homepage3.nifty.com/fuusha- sakura/〉	1		1		1		1	1 1	1	1	1 1	1	1	1	1		1		1	・居場所・相談事業(カウンセリング等)	イベント、祭り等で使用されるリユース食器類を 貸し出し、また、利用した食器類は汚れたままで 回収し、風車で洗浄、滅菌を実施	組織的で徹底した取組み
関東(計	東京都	渋谷区	NPO iPledgeごみゼロナビゲーション事業部〈http://www.ipledge.jp/〉		1	1	1			1		1	1									; ; !	【ごみゼロナビゲーション】 ・イベント会場において、来場者やスタッフ、ごみの清掃業者の代わりに「ごみ 青掃」を引き受けるのではなく、当該イベントに関わる全ての人々が、「ごみの 削減へ向け協力体制を組む」ことの「手助け」をすること (LIVE ECO】 ・ライブハウスがよりエコでピースな空間になってほしいという思いを込め、「リ ユースカップ」使用の推進、オリジナルカップの製作を実施 【マイ食器・マイボトルをもってフェスに行こう!】 ・マイホトル・マイ食器の使用を推進		組織的で徹底した取組み
8		中野区	特定非営利活動法人 社会資源再生協	1		1	1			1	1 1	1	1	1 1	1	1	1 1	1		1	1		リユース食器普及活動		組織的で徹底した取組み
団体		八王子市	議会〈http://www.reusecup.jp/〉 一般社団法人リユース食器ひなげし		1	1	1		1	$\dagger \dagger$	1 1	1				+	${\dagger}$	$\dashv$	+	1	$\dashv$	, j	・地域ごみゼロ活動 地域のイベントや夏祭り、大学の学園祭や地域の自治会、町内会などへ出向		
		横浜市青葉区	特定非営利活動法人 Waveよこはま 〈http://reuse-wave.sakura.ne.jp/〉	1		1	1			1	1 1	1	1	1 1	1	1	1 1	1	1	1		1 .	き、リユース食器を知ってもらうためのPRを実施 ・エコイベントの企画・運営 ・食器洗浄機を搭載した車ごとリユース食器を貸し出しや食器洗浄のサポート (有償) ・環境教育活動		組織的で徹底した取組み
	神奈川		公益財団法人 横浜市資源循環公社 〈http://www.shigenkousha.or.jp/〉	1		1	1		1		1 1	1	1 1	1 1	1	1	1	1		1		1 -	公益目的事業】  缶・びん・ペットボトルのリサイクル推進事業 ・廃棄物の最終処分・適正処理推進事業 ・粗大ごみの適正処理、リサイクル及びリユース推進事業 ・廃棄物の収集業務効率化・適正処理推進事業 ・3R・地球温暖化対策推進事業(普及啓発) 3R・地球温暖化対策推進事業(リユース食器貸出業務) 収益事業】 ・廃棄物処理施設を建設する地方自治体への技術指導事業	3R・地球温暖化対策推進事業(リユース食器貸出業務)において、リユース食器の貸し出しを実施 ⇒ 実践ポイントを詳細に作成(ガイドラインも公表)、その他には、洗浄返却方式・洗浄マニュアル、リユース食器衛生管理マニュアル等を独自で作成	組織的で徹底した取組み

			団体名	貸	ш .	洗浄 サーヒ ス		ーディ ・ート	対象	エリア	対象	東イベ	ント規	模			保有食	器			食料洗涤	器 3	食器 先浄器 重搬車		備考
地方	都道府県	区市町村		o K	N O	0 N	N O K	N O	地域限定	地元優先	S 1 1 0 0 1 0	\$ 1 0 0	\$ 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 0	どんぶり	共 力ッ 2 8 0 m I	プー	その他コップ	スプーン	フォーク		なしる			
			リユース・くらぶ・にいがた 〈http://www18.ocn.ne.jp/~ecolife/reuse. htm〉	1		1	1	1			1 1	1	1		1 1	1	1		1	1 1		1		新潟県内に活動拠点のある町内会・自治会・事業者・学校および各種団体 1 (NPO・NGO)等が主催するイベントなどで出るごみ(使い捨て容器)の減量を 図るため、洗って繰り返し使用するリユース食器の貸出を実施	
		新潟市中央 区	てtoて倶楽部 〈http://www.te2te.jp/〉	1		1	1	1			1 1	1	1	1	1 1	1	1	1	1	1 1		1		・空きびんおよびカレットの選別処理 ・空びんの売買および洗浄びんの販売 ・カレットの売買 ・ペットボトルの選別処理 ・空小がボトルの選別処理 ・空もの選別処理 ・空もの選別処理 ・空もの選別処理 ・空もの売買 ・リユース食器の洗浄レンタル ・リサイクルガラス工芸教室および販売 出張教室	組織的で徹底した取組み
	新潟	新潟市北区	豊栄福祉交流センター クローバー 〈http://park3.wakwak.com/~clover/〉	1		1		1			1 1	1			1 1	1	1		1			1		リュース食器は、消毒殺菌したものを貸し出し、 知的・身体・精神の障がいを持っている人と障がいを持っていない人の4者が 集う福祉施設 リュース食器は、消毒殺菌したものを貸し出し、 洗わずに返却可能(地域や行政施設のイベント から家族・友人同士のキャンプ等への利用対 象)	
		十日町市	NPO法人 なかまたち	1		1	1	1			1 1	1	1		1 1			1	1	1 1		1		1 バイオプラスチック食器の貸し出し、衛生面に配慮した洗浄・保管施設を独立して整備し活動	
中部(計10		三条市	環境NPO良環 〈http://www.ginzado.ne.jp/~recycle/inde x2.htm〉	1			1	1	1		1				1 1	1	1		1	1 1		1		・自転車利用促進事業 レンタサイクル(ちゃりっぱ) ・環境・エネルギー教室(りょうかん号)関連事業 1・環境紙芝居関連事業計画 ・菜の花プロジェクト計画案 ・リユース食器事業計画 ・環境にやさしい買い物運動	
団体		新発田市	ベアーズ ファーム	1		1	1	1	1		1	1			1	1	1					1	1	軽自動車+食洗機+給湯器の移動洗浄システムを個人で所有	
	山梨		特定非営利活動法人 スペースふう 〈http://www.spacefuu.net/〉	1		1	1	1			1 1	1	1	1	1 1	1	1	1	1	1		1		・リユース食器レンタル事業 ・リユース食器販売事業 1・リユース食器ふうネット 事務局 ・Jリーグヴァンフォーレ甲府エコスタジアム事業 ・広がれ! 小瀬エコスタジアムプロジェクト実行委員会 事務局 ・地域とのつながり事業	組織的で徹底した取組み
	静岡	富士市	富士市のごみを考える会 〈http://fujigomizero.sakura.ne.jp/〉	1		1	1	1	1		1	1	1		1 1							1		・生ごみ資源化       ・環境教育       貸出実績データあり          ・リユース食器貸出       ・市長への提言 等	組織的で徹底した取組み
		静岡市清水 区	tiny drops shizuoka	1			1	1	1		1	1	1		1	1	1	1	1	1 1		1		リユースカップの貸出しやドリンク販売出店によるリユースカップの普及活動、 コミ減量活動を実施	
	愛知	名古屋市熱 田区	名古屋学院大学"マイルポスト"プロジェ クト 〈http://www.ngu.jp/ngugp/milepost/res ults/index.html〉	1			1	1	1		1				1		1	1				1		・バーチャルモール(瀬戸・銀座通り商店街の数々の逸品をインターネットを 使って紹介・販売) ・リユースカップの開発・貸出	組織的で徹底した取組み

			団体名	貸	出	洗剤サース	<u>.</u> =	ーディ ネート	対象	エリア	対	象イベ	ント規	模		ŧ	有食	器			食器 洗浄車	洗	と器 浄器 搬車		
地方	都道府県	区市町村		o K	N O			N O	地域限定	地元優先	5 1 2 0 0	\$ 1 0 0	\$ 1 0 · 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 0 , 0 0 0 0 5	せんぶり	共道 カップ 2 8 0 m l	型プ 4 5 0 m l	1 第	スプーン	フォー	あるし				備考
	三重	四日市市	NPO法人 デポネット三重 〈http://www5.cty-net.ne.jp/~deponet/〉	1		1		1			1 1	1	1		1 1	1	1	1	1			1	1	リユース食器の貸出(今後一般廃棄物の堆肥化事業も実施予定) 組織的	職的で徹底した取組み
	滋賀	高島市	すまいるあーす ⟨http://smile2008earth.shiga-saku.net/⟩	1		1		1			1 1	1			1 1	1	1	1 1				1	1	リユース食器の貸出や使用推進 2009年9月25日から情報更新なし	
	京都	京都市中京区	地域環境デザイン研究所 ecotone 〈http://www.ecotone.jp/〉	1		1		1			1 1	1	1	1	1 1	1	1	1 1	1	1		1 1	1	・環境支援対策 ・市民メディア(講座やセミナーの開催・運営等) ・フェアトレード ・都市と農村(「食」と「農」の協働活動を通じて、「むら人とまち人」「まち人とまち人」とが交流を深め、持続可能な地域の素材を活かしたスローな都市生活のきっかけの場を創造) ・イベント企画・制作(環境イベントを中心とした取組み) ・映像・WEB制作	<b>微的で徹底した取組み</b>
近畿		茨木市	リユース食器のABC 〈http://www.hcn.zaq.ne.jp/reuseabc/〉		1		1	1			1 1	1	1									1	1	リユース食器のABCは、2010年末をもちまして貸出を終了 ⇒所有していた食器は、大阪府茨木市内の茨木高校と三島中学校に譲渡。今 後はこれらの譲渡先から、運搬、事前チェック、洗浄・乾燥、事後チェックを、利 用者の負担とすることを条件に無料貸出を実施	
(計7団体)	大阪	吹田市	公益財団法人 千里リサイクルプラザ 〈http://www.kaigisho.com/kurukuru/〉	1		1		1			1 1	1	1		1 1	1	1	1 1	1	1		1	1	・市民工房 ・イベント開催 ・再生品販売 ・情報紙作成 ・研究活動 ・環境学習 ・出前講座 ・講演・行事 ・リュース食器の貸出 ・生ごみたい肥活動等	<b>微的で徹底した取組み</b>
-	兵庫	尼崎市	グループエコノワ・尼崎	1		1		1	1		1	1	1	1	1 1	1	1	1				1	1	・自治会、地域コミュニティのふれあいサロン等でのリユース食器の貸出 ・環境活動団体の屋外イベントや市内のさまざまな団体のイベントにてリユース食器の貸出 ・イベント会場におけるごみ減量のアドバイスの活動	
	奈良	奈良市	特定非営利活動法人奈良ストップ温暖 化の会(NASO) 〈http://naso.jp/〉	1			1	1			1 1	1			1		1	1				1	1	・環境出前講座や環境イベントの主催、環境関連イベントへの参加、ストップ温 暖化推進員の養成・研修、ストップ温暖化匠の知恵コンテストの開催 ・リユース食器の貸出、他団体と連携して食器洗浄機や食器数・種類など、よ リニーズに応じた貸出も実施 ・エコイベントのコーディネート、支援も実施	<b>載的で徹底した取組み</b>
	鳥取	米子市	社会福祉法人養和会 エポック翼 〈http://epoch-t.com/〉	1		1		1			1 1	1	1		1 1	1		1 1	1			1	1	・相談支援事業(一般相談・計画相談)     ・就労移行支援事業     ・就労継続支援事業B型     ・地域活動支援センター事業     ・相談支援事業の一つと     ・地域活動支援センター事業     ・施	載的で徹底した取組み
中国(計4団	岡山	岡山市北区	特定非営利活動法人タブララサ 〈http://nporasa.blog112.fc2.com/〉	1		1		1	1		1	1			1	1	1	1				1	1	・キャンドルナイト ・リュース食器の普及 ・HAPPY SHARE CANDLE ・キャンドルコーディネート・ラサ×白石島(オーガニックコットン作りを通して、しまをデザインする) ・エコプロデュース(倉敷の旅館御園で旅館のエコ運営をプロデュース)	
団 体 )		岡山市北区	EXCAFE(エクスカフェ)	1			1	1	1		1	1				1	1					1	1	実際に使用し、広くその便利さや意義を体感して   カフェ・スイーツ店   いただきたいとの想いから、リユースカップを無   料で貸出	
-	広島	安芸高田市	from grassroots 広島 〈http://dp56281398.lolipop.jp/reuse/mai n.html〉	1		1		1	1		1	1	1		1 1		1	1 1	1			1	1	・野外イベント、地域のイベント、クラブイベントなどでリュース 食器の貸し出し	<b>載的で徹底した取組み</b>

				貸	出	洗浄 サーl ス	בַּ בַּ	ーディ ネート	対象	kエリフ	ア 対	象イ	ベントチ	見模			保有	食器	,		货洗	注器 浄車	食器 洗浄器 運搬車	器			
地方	都道府県	区市町村	団体名	o K	<b>N</b> 0	О К	N C	O N	地域限定	地元優先	日 5 1 全 0	S 1 , 0 0 0 0	\$ 1 0	1 0 0 0 0 0 5	<b></b>	2 8 0 m	を通り ツプ 4 5 0 m l	その他コップ	箸	スプーン		なし			団体活動内容	リユース食器関連の活動内容	備考
四国(	徳島	勝浦郡上勝町	ゼロ・ウェイストアカデミー 〈http://www.zwa.jp/about/activity/04.ht ml〉	1			1	1			1	1 1			1		1 1					1		1	ゴミステーションの管理 くるくるショップの運営 くるくる工房 リユース食器の貸出 出版物の発行 有償ボランティア輸送事業等		組織的で徹底した取組み
(計2団体)	香川	高松市	四国環境パートナーシップオフィス 〈http://4epo.jp/modules/sepo4/index.p hp?id=24〉		1		1	1		1		1 1	1									1		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	震災復興支援活動を情報発信 持続可能な開発のための教育 環境教育 政策提言 生物多様性マップの提供 エコイベント 企業とのパートナーシップ促進による環境保全活動の支援、関連情報の提供 環境活動の支援として助成金の説明会の開催等	リユース食器(280および450mlのカップ、平皿、 どんぶりの貸し出しをしている四国各地の協力 団体と連携し、イベントや会議等でのリユース食 器の活用を推進	組織的で徹底した取組み
		北九州市若 松区	社会福祉法人 北九州市手をつなぐ育成 会 洞海工芸舎 〈http://www.kitaiku.com/〉	1		1		1			1	1 1	1		1	1	I	1	1	1		1		・	障害者就業・生活支援事業 北九州市障害者就労支援事業 相談支援事業 就労支援の促進 自販機設置事業(ボランティア自動販売機の設置) 研究機関	リユース食器のレンタル作業は、障害福祉サービス多機能型事業所の作業として、障害のある方と支援者が一緒に実施	
	福岡		北九州エコライフステージ実行委員会 〈http://www.ecolife-stage.org/〉		1		1	1	1			1 1	1	1								1		1 · ±	北九州エコライフステージ事業のシンボル事業 地域の環境活動支援事業(広報的支援) 環境ポータルサイトの運営	イベント等を通じて、飲食からのエコを考えるということで、使い捨てではないリターナブル食器 を再利用する取組みを推進	組織的で徹底した取組み
九州		福岡市早良区	特定非営利活動法人 GREEN'S	1		1		1	1			1 1	1	1	1	1	1	1				1	1	15	周辺自治体イベントや野外フェス、大学祭、自団体開催イベント・音楽フェス : てリユース食器を導入 イベントごみゼロプラン策定、企画、協力も実施		
計 7	熊本	阿蘇郡高森 町	エコイベントを進める会	1			1	1	1			1 1					1					1			環境に優しいイベントを進めるための提案 イベントで発生するゴミを減量のためリユースカップの貸出		
団 体 )		島尻郡南風 原町	アースの会 〈http://www.city.naha.okinawa.jp/sisetu /annai/recycle.html〉	1			1	1	1			1 1			1	1	1 1	1	1	1	1	1		見・1, 4	環境教育・啓発活動(リサイクル(家庭ごみの資源化・減量化)の推進、施設 リ学) リユース食器の貸出 イベント用ご トの貸出 その他ゴミ減量活動(子供服・学生服等の引き取り提供等)		
	沖縄	石垣市	八重山サンゴ礁保全協議会 〈http://homepage3.nifty.com/sango- hozenkyou/〉	1			1	1	1			1 1			1	1	1		1	1		1			八重山のサンゴ礁保全のための情報交換の場を提供 リユース食器の貸出	貸出実績データあり	組織的で徹底した取組み
		宮古島市	Small Hands {http://ameblo.jp/small-hands/entry- 10107497871.html}	1		1		1	1			1 1	1				1					1		1 IJ.	ユースカップの貸出し	2008年6月18日以降の情報更新なし	
			集計	38	5	26	17 2	29 14	22	2	19 4	2 38	25	8	31	31 27	30	22	25	24 1	0 2	40	5 3	37	_	_	_

# 3 議論の経過等

## (ア) 会議及び活動概要

回数	開催日	主な議題
1	平成 26 年 2月 21 日(金)	<ul><li>1 委嘱状交付</li><li>2 委員長・副委員長選出</li><li>3 第6期千代田みらいくる会議の進め方について</li><li>4 千代田区のごみの現状について</li></ul>
2	6月10日(火)	1 検討テーマの選定について
3	9月9日(火)	1 検討テーマの選定について
4	12月10日(水)	<ul><li>1 ごみ・資源の流れについて</li><li>2 環境学習センターについて</li><li>3 リユース食器について</li></ul>
5	平成 27 年 5 月 29 日(金)	<ul><li>1 ごみ・資源の流れについて</li><li>2 (仮称)ちよだエコセンターについて</li><li>3 リユース食器について</li></ul>
6	11月6日(金)	<ul> <li>1 ごみ・資源の流れについて</li> <li>2 (仮称)ちよだエコセンターについて</li> <li>3 リユース食器について</li> <li>4 オリンピックを見据えての分別・ユニバーサルデザインについて</li> <li>5 資源の持ち去りについて</li> <li>6 「第6期みらいくる会議からの報告」について</li> </ul>
7	平成 28 年 2月5日(金)	1 第6期千代田みらいくる会議からの報告(案)について
8	平成 28 年 3月 22 日(火)	区長へ報告書を提出

# (イ) 第6期千代田みらいくる会議委員名簿 (敬称略)

	氏 名	Ž	役 職 名 等
1	内 河 英	臣	公募委員
2	大 原 嘉	津子	神田清掃協力会副会長
3	◎金藤正	直	法政大学人間環境学部准教授 第 6 期千代田区一般廃棄物減量等推進審議会委員
4	鎌形	剛	生活協同組合パルシステム東京 環境推進室室長
5	神谷卓		一般社団法人プラスチック循環利用協会 総務広報部広報学習支援部長
6	菊 田 哲	彦	東京商工会議所千代田支部会員企業 株式会社リーテム総務部長
7	佐藤克	春	ー橋大学大学院経済学研究科特任講師、 神奈川大学非常勤講師、フェリス女学院大学非常勤講師
8	清水岳	人	ちよだエコ・オフィス町内会 株式会社新井商店営業部係長
0	白根哲	也	一般社団法人大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 街づくり検討会コアスタッフ
10	髙橋	徹	千代田区リサイクル事業協同組合理事、事務局長
11	髙 山 剛	_	神田古書店連盟副会長
12	滝 澤 靖	臣	CES推進協議会正会員、監査員、環境リーダー
13	立 花 佳	大	山崎製パン株式会社総務本部管財部管財課
14	田村ま	—- り子	麹町清掃協力会常任理事
15	〇中 村 節	子	ちよだ環境ボランティア
16	穂 保 国	雄	千代田区商店街連合会常任理事 飯田橋商店街振興組合副理事長

※回は委員長、〇は副委員長

#### (ウ) 区民会議の設置根拠について

#### 千代田区一般廃棄物の処理及び再利用に関する条例第7条

(区民参加)

- 第7条 区長は、再利用等による一般廃棄物の減量及び処理について、 区民等の意見を施策に反映することができるよう必要な措置を講じな ければならない。
- 2 区長は、区民及び事業者との共同による一般廃棄物の減量及び処理 に関する区民会議(以下「区民会議」という。)を置く。
- 3 区民会議の構成、運営等必要な事項は、千代田区規則(以下「規則」 という。) で定める。

#### 千代田区一般廃棄物の処理及び再利用に関する規則第3条

(区民会議の組織)

- 第3条 条例第7条第2項に規定する千代田区一般廃棄物の減量及び処理に関する区民会議(以下「区民会議」という。)は、区民、事業者、製造者等のうちから区長が委嘱する30名以内の委員で組織する。
- 2 委員の任期は2年とし再任を妨げない。ただし、欠員補充による後 任者の任期は、前任者の残任期間とする。

#### 千代田区一般廃棄物の処理及び再利用に関する規則第4条

(区民会議の運営)

- 第4条 区民会議に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選任 する。
- 2 委員長は、区民会議の会務を総理し、区民会議を代表する。
- 3 委員長は、会議を招集し、会議の議長となる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。
- 5 区民会議は、必要に応じて委員以外の者に対して会議への出席を求め説明又は意見を聴くことができる。
- 6 区民会議の庶務は、環境まちづくり部千代田清掃事務所において処理する。